

議会 だより



「白川郷学園9年生が議会一般質問を傍聴」

9月29日(金)に開催した第3回議会定例会の一般質問に、白川郷学園9年生が傍聴に訪れました。これは村が第2次総合戦略で掲げている「いつまでも住み続けたい村づくり」に向けた議会議論の現場をリアルに経験することを目的としたふるさと学習の一環で活動するものです。子ども達は、議員の一般質問やその答弁など、村づくりへの熱い議論に真剣な眼差しを向けていました。

第43号

令和5年11月10日
発行

CONTENTS

第3回議会定例会	2	議会の活動報告	5
第4回総務産業常任委員会報告	3	第3回議会定例会 一般質問	6
第1回新庁舎建設特別委員会 審査報告	3	これが私の生きる道	12
令和4年度決算認定のツボを解く	4	議会傍聴案内	12
		編集後記	12



白川村

shirakawa village

議 会
広 報

第3回議会定例会は、令和5年9月19日(火)から9月29日(金)の会期で開催し、運営状況報告や決算認定、補正予算、委員会設置について慎重審議を行い原案どおり可決しました。

◆第3回議会定例会◆

●令和4年度決算に基づく財政健全化判断比率及び資金収支比率の報告

(詳細は4ページに掲載)

●飯島観光開発株式会社の経営状況報告

今期の営業日数は361日。総売上は1億3,300万円で前年比144.4%。

全職員の創意工夫により、道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供できるよう一層努力をしていきます。

●大白川温泉観光株式会社の経営状況の報告

今期の営業日数は266日。総売上は2,485万円で前年比98.3%。

団体の受入や平日の受入に力を入れ、誘致等を行っていきます。

●一般財団法人白川村緑地資源開発公社の経営状況の報告

今期の開園日数は348日。収入は1億1,526万円で前年比114.4%。

事業収入が増額となったが、村からの運営補助金が今期も4,000万円で公的支援に大きく依存する結果となった。

●一般財団法人世界遺産白川郷合掌造り保存財団の形成状況の報告

今期の収入は1億1,654万円。前年比112.5%。普通車、大型車共に昨年度を上回る入込みとなった。

●白川村教育委員会の委員の任命の同意

▽令和5年9月30日をもって任期満了を迎える教育委員会の委員、東屋 淳氏の再任について同意しました。

東屋 淳氏

白川村大字木谷694番地

任期：令和5年10月1日から

令和9年9月30日(4年間)

●補正予算(7件)

令和5年度白川村一般会計及び特別会計補正予算について次のとおり議決しました。

- ・白川村一般会計補正予算(第3号)
- ・白川村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- ・白川村介護保険特別会計補正予算(第1号)
- ・白川村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- ・白川村簡易水道特別会計補正予算(第2号)
- ・白川村公共下水道特別会計補正予算(第1号)
- ・白川村温泉開発特別会計補正予算(第2号)

●新庁舎建設特別委員会の設置及び委員の選任

◎新庁舎の建設に向けて、諸事情を調査するため新庁舎建設特別委員会を設置。

- ・審査の期限は新庁舎建設完了日。
- ・委員の定数は全7名の議員で構成する。
- ・委員長は議長、副委員長は副議長とする。



第4回 総務産業常任委員会報告

委員長 大田 貢

Q 養豚場臭気対策について

A 専門家の調査をいただき

1. 繁殖分娩舎排気口消臭シート改修工事
1. 畜舎排気口自動噴霧機器導入工事
1. 縦型コンポスト棟ばっ気脱臭槽自動噴霧機器導入工事
1. 汚水処理施設棟・縦型コンポスト棟排水管理設工事
1. 残渣ピット噴霧ノズル追加延長・農場南側消臭ゲート自動希釈機器設置の対策を行い臭気「ゼロ」を目指していきます。

第1回 新庁舎建設特別委員会審査報告

副委員長 森崎 敏克

新庁舎建設特別委員会の設置、及び審査報告

新庁舎の建設に向けて

議員提出により、9月定例会において、新庁舎建設特別委員会の設置を全員一致で可決されました。

議会として執行・行政・検討委員会と共に協議をして、より良い庁舎建設に向けて、新庁舎の建設位置、規模、工事予算等について検討していきます。

委員会
名簿



委員長
太田 忠弘



副委員長
森崎 敏克



委員
平田 律代



委員
坂本 正代



委員
川田 一浩



委員
大田 貢



委員
宮部 俊典

令和4年度 決算認定のツボを解く

決算特別委員会にて多くの議論と協議を要した事業の決算認定を紹介します。

全体的な数値

- 令和4年度一般会計決算は、前年度に比べ歳入が2.3%増の総額44億51,437千円、歳出は7.0%減の総額39億18,425千円であった。

歳入の中には、ふるさと納税の影響によって1億90,562千円増と貢献している財源もある。また、一方、歳出の中では、維持補修費が1億37,125千円減となっており、主に降雪が少なかった影響による除雪事業費の減少が見受けられた。

- 財政健全化4指標の基本となる標準財政規模は、19億40,974千円となり1.5ポイントの減少。財政力指数は前年比0.004ポイント減の0.331ポイント減0.331と微減であり依然として低い水準である。

経常収支比率は、1.8ポイント増加し70.5%となった。地方税は伸びつつも、地方交付税が減額したことにより前年度より下回ったことが要因であった。

実質公債比率は、2.6%で昨年度から微増したが、依然高い水準を保っており、今後も引き続き財政健全化に向けた取り組みを続け、健全財政維持に努めていただきたい。

特別会計については、歳入が7%減の総額7億97,765千円で歳出は10%減の総額6億77,086千円となった。事業の減少としては、療養給付費の減少や基金積立の減少となっており、今後も独立採算の原則に従い事業運営を展開されることを期待します。

経常収支比率とはその団体の財政構造の弾力性を示す指標で、**毎年度経常的に収入される一般財源（地方税、普通交付税など）のうち、経常的経費（人件費、扶助費、公債費など）に充当された一般財源の割合のこと。**この比率が高いほど、臨時の財政需要や、団体のニーズなどに対応した事業の実施が難しくなるそうです。

実質公債費比率とは、**当該地方公共団体の一般会計等が負担する、元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率**です。借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標とも言えます。

財政力指数とは 地方公共団体の財政力を示す指数で、**基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値**。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があると言える。

●白川村の基金について

白川村の積立基金は特別会計を合わせると22の基金があります。令和4年度の積立額は、3億2,010千円増、取崩額で総額6,109千円となっている。令和4年度に主だった基金への積立としては、学校施設整備基金に201,310千円と減債基金に4,400万円の増額となっています。減債基金については経済不安等による歳入の落込みに備える為に実施したもので、公債費は歳入の減少等に関係なく支出されなければならない義務的経費である為、公債費対策として増額を行いました。村の財政安定に向けて今後も注視していきます。

●村税について

村税は個人、法人、固定資産、軽自動車税、たばこ税、入湯税等で構成されています。残念ながら納付いただけない税等の滞納額もあり、4年度は、村税と介護保険料で増加したものの他の国民健康保険料等では減少しています。徴収については、厳しい状況であると考えられるが徴収事務担当者や税務事務所との連携を図り、差押えも考慮しつつ、一層取り組みを強化していただき、収納力の向上に努め、完納を目指して頂きたいと思えます。

●不用額について

不用額（予算上余った金額）については年度末の3月までに補正予算等で処理できず、あるいは4月以降に支払うべきもので予め予算を残す必要がありますが、一般会計と特別会計を合わせ昨年比では、35,025万円減の1億56,975千円となっている。予備費も関係するところもあると考えるが適正な処理を行い、不用額の減になるよう議会としても指摘して参ります。

7月活動報告

日にち	議会議員	正副議長	総務産業常任委員会委員長	監査委員
18日(火)	全国市町村議会議員研修 ＜平田議員＞	リニア中央新幹線建設促進岐 阜県期成同盟会令和5年度定期 総会14:00＜議長＞		
19日(水)	全国市町村議会議員研修 ＜平田議員＞			
20日(木)	全国市町村議会議員研修 ＜平田議員＞			例月出納検査 9:00
21日(金)		地域経済懇談会 17:30 ＜議長＞		
25日(火)	議会臨時会 9:00 議員懇談会 10:00			
28日(金)		国保運営協議会 16:00 ＜議長＞	国保運営協議会 16:00	

8月活動報告

3日(木)	白川村要望及び懇談会 13:15			
8日(火)		飛騨地域議長会議16:00 ＜正副議長＞ 飛騨地域議長会議情報交換会 17:30＜正副議長＞		
9日(水)		国道304号線道路整備促進期 成同盟会総会10:30＜議長＞	国道304号線道路整備促進期 成同盟会総会10:30	
10日(木)		東海北陸自動車道建設促進同 盟会・東海環状道路建設促進 期成同盟会整備促進大会13:30 ＜議長＞		
14日(月)	二十歳を祝う会 9:10			
17日(木)	全国市町村議会議員研修 ＜大田眞議員、宮部議員、 坂本議員＞			
18日(金)	全国市町村議会議員研修 ＜大田眞議員、宮部議員、 坂本議員＞	岐阜県町村議会議長会理事会 15:00＜議長＞ 岐阜県町村議会議長会評議員 会、懇親会16:00＜議長＞		
21日(月)				決算審査及び定例監査13:00
22日(火)				決算審査及び定例監査 9:00
24日(木)	岐阜県町村議会議長会新任議 員研修会13:00 ＜平田議員、川田議員＞			決算審査及び定例監査 9:00
25日(金)	全国町村議会広報クリニック 13:00＜広報委員会委員長、 副委員長＞			決算審査及び定例監査 9:00

9月活動報告

2日(土)	白川郷学園体育大会 8:30			
5日(火)	議会運営委員会 9:00 執行・議員懇談会 11:00			
12日(火)		ダム放流防災懇談会 15:00 ＜議長＞		
15日(金)	白川村敬老会 10:00			
16日(土)	白川保育園運動会9:00			
19日(火)	議会定例会(初日) 9:00 決算特別委員会 13:00 広報委員会 15:00			
20日(水)				例月出納検査 13:00
21日(木)	総務産業常任委員会 9:00 決算特別委員会 11:00 新庁舎建設特別委員会 14:00 議員懇談会 16:00 一般質問通告書提出期限 17:00			
22日(金)		中部縦貫・北陸関東広域道路 建設促進同盟会令和5年度 定期総会 13:30＜議長＞		
25日(月)		国道360号整備促進期成同盟会 令和5年度通常総会 13:30 ＜議長＞		
26日(火)	全国町村議会広報研修会 13:00＜広報委員会副委員長＞			
27日(水)		飛騨ミート農業協同組合連合会 創立40周年記念式典 12:30 ＜議長＞		
29日(金)	議会定例会(最終日) 9:00			



人と人の繋がりの大切さ



大田 貢 議員

Q コロナ禍により無くなった「人と人の繋がり」を取り戻すには？

A 社会教育委員会では、全社会教育関係団体に対し行事再開に向けた前向きな発信を掲示しました。今年度は各地区で様々な行事や活動が行われており、地域の大人との関わりが楽しかったことや次年度も参加したいとの声があり、人と人の繋がりを肌で感じる子どもたちの姿が行事再開の大きな成果として見えます。

このようにコロナ以前と同様の行事開催方法が困難の団体もありますが、どの団体も「人と人の繋がり」を大切にしたいと考えており、今後は現状にあった開催方法・創意工夫のもとで行っていけるよう社会教育委員会と共に事務局もサポートをして参ります。

(答弁者：成原村長、田口教育委員会事務局長)



「ラーケーション」休み方改革について

Q 白川郷学園は「ラーケーション」を取り入れるのか？



A ラーケーションの導入につきましては、現時点では検討をしていますが、今後県内での動向によっては、議論等が必要になると思われます。導入した場合の懸案事項につきましては、要点を踏まえて、検討していくことが必要であると考えます。

(答弁者：宮丸教育長、田口教育委員会事務局長)

ラーケーションとは？

「ラーニング」と「バケーション」を組み合わせた造語で、余暇中に学ぶ行為を指す。(ウィキペディアより引用)



アピランスケアについて



平田 律代 議員

Q がん患者用補正具購入助成金の今後の見直しと村民への
ヘアドネーションの周知努力をお願いしたい。

A 当村の助成金額については、県内他自治体と比較しましても妥当と考えております。ヘアドネーションは素晴らしい活動です。今後HPや広報での掲載について検討してまいります。

(答弁者：古田村民課長)

A この質問を機にウィッグ、乳房補正具以外にもエピテーゼ（人工物の指や耳等々）又、小児がんに対する特別支援などの検討を指示いたしました。金額の見直し含め有効活用に向けて努力いたします。

(答弁者：成原村長)



白川郷学園でのがん教育の取り組みについて

Q 日本人の二人にひとりが罹患すると言われている「がん」ですが、学園ではがん教育についてどう取り組んでおられますか。

A 白川郷学園では、8年生を対象に、平成29年よりがん教育を実施しております。「ぎふ 生命の教育」の一環として正しく「がん」を理解することが非常に重要と考えておりますので、今後も予防、早期発見、備え等に向け、がん教育を続けてまいりたいと思っております。

(答弁者：宮丸教育長、田口教育委員会事務局長)





熟考した予算編成を望む!!



宮部 俊典 議員

Q 議員研修で、「行政は決算よりも、予算に全力をそそぐ」と聞きました。行政予算により、住民への公共サービスの提供の実現・理解・協力・公表が必要となるが、予算編成の流れや、事業効果の重要性を考え、予算はしっかり積算をして出ているのか、確認させて頂きたい。

A 11月に当初予算説明会、12月から1月にかけて財政課による予算要求内容の精査後、村長による査定を実施し、予算案を固めます。2月には議会予算特別委員会で全ての予算を確認し、3月議会定例会に当初予算を上程します。積算に関しましては、村の最上位計画である、総合戦略をはじめ、地域要望や国・県の動向や経済状況を踏まえ要求し、節区分ごとに積算根拠を確認したうえで予算要求を行っております。

(答弁者：近藤財政課長)



隠れた部分も世界遺産!!

Q YouTube動画を見ていると、白川郷に関するものが非常に多くアップされています。日本の原風景として、効果的に伝えられ、勝手に魅力アップにつながっていると感じます。ですが、動画はきれいでない部分も映し出されていますので、残念な思いもします。景観は世界遺産地区内にとらわれず、白川村全体の事と考え、見ばえの良い風景づくりになる様、啓発して頂きたいと思います。

A 世界遺産地区内の外観に関しては「伝統的建造物群保存地区保存条例」により規制されています。個人所有の物件における外観の景観誘導は自発的な行動を促す事が不可欠であり、合掌財団が実施している他地区への視察事業は、「景観を見直す良い機会」となるため積極的に実施したいと考えます。また、守る会発行の「ねそ」などを利用し、啓発記事の掲載や外観の景観活動に取り組んでいきたいと思っております。

(答弁者：田口教育委員会事務局長)



学園体育祭午前中開催は、子供たちの基礎体力の低下につながるのか？



坂本 正代 議員

Q 学園体育祭は、コロナ感染症の5類移行に伴い、3年ぶりに観客を入れての開催となった。心身の健康や体力向上など学びの場としても大きな意味を持つ体育祭ですが、午前中だけの開催は子供たちの成長に影響を与える事は、無いのでしょうか。

A 岐阜県下の小中学校では、そのほとんどが午前中開催で、熱中症や暑さ対策もあり、いろんな不安要素がある中で、無事に開催したことを評価したい。議員のお考えは一意見として伝えます。

(答弁者：宮丸教育長)

A 学園側に確認したところ、熱中症対策によるものとのことでした。PTA執行部との協議を重ね、来年以降も引き続き午前中開催の予定としております。

(答弁者：田口教育委員会事務局長)



害獣駆除活動による猟師の負担軽減、環境を速やかに整えるべきではないか？



Q 近年頻繁に、熊など害獣の出没が人と近くなり、人的被害だけでなく観光にも影響が起きないかと大変心配です。駆除は兼業の作業であり、猟師の負担軽減と環境の整備を速やかに整える事が必要ではないか。

A 狩猟者個人及び猟友会の費用負担軽減は、他自治体以上の支援を行っております。現在駆除個体の最終処分場施設についても国庫補助金を活用して整備する方針で検討しているところです。

(答弁者：高島産業課長)



河川敷駐車場の安全管理について



森崎 敏克 議員

Q 8月の台風7号の予報の時、出会い橋の危険が予想されるため、通行止めの対応をとるために、せせらぎ公園駐車場を閉鎖しました。危機管理対応として適切な対応であったと思います。その際、河川敷内の、みだしま公園駐車場を普通車対応として開放しましたが、その対応は適切だったかお尋ねします。

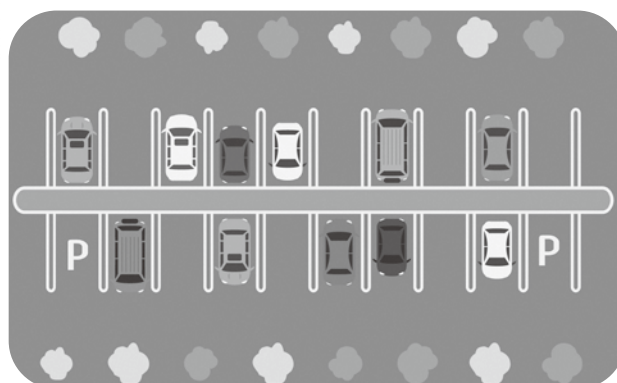
A 危険性を考慮し、御母衣ダムの水位確認や雨量の予測から、浸水することがないものと判断し、開放しました。

(答弁者：吉實観光振興課長)

Q 河川敷に駐車場が建設できたのは、公益性の施設であるため許可されたと考えます。しかし、この場合でも洪水時に車を河川外に搬出するための管理規定の作成が必要です。村は、管理規定を作成していますか？

A このたびの対応は今まで実施したことがありませんでした。駐車場の指定管理の仕様書には、災害時の対策を指定管理者で整備するとあります。管理者の合掌造り保存財団と共に、村の防災計画との整合性を確認しながらマニュアルの作成を進めます。

(答弁者：吉實観光振興課長)





村の観光にそぐわない呼び込み営業の解決策について



川田 一浩 議員

Q 荻町集落内において長期間にわたり呼び込み営業をする店舗あり、辞めて頂くように行政や関係機関がお願いに行っているが、未だ解決されていない。

法的な規制に基づいた対応を講じる必要にも迫られていると考えられるので、現在に至るまでの村の対応や、今後の解決に向けた方策についてお聞かせいただきたい。

A 平成23年から13年間、23回以上に及び、お願い、注意、指導を行っているが、同様の行為の繰り返し状態である。「法的な規制に基づいた対応を講じる必要に迫られている」ことに関しては、条例制定については、村民からの制定に向けた強い要望が必要であるが、一方で、一案件だけで条例制定を行うかも考量しなければならない。運用負担や効果を含め、呼び込み行為が行われないように対策を検討していきたい。また、周辺環境整備をすることによって制御することも可能になる。

(答弁者：岩本副村長、吉實観光振興課長)

Q 課題を明らかにすることによって村民に今での村の取組が理解いただけると思いますが、そこで、呼び込み営業によって村の駐車場収入が減っているのであれば、逸失利益の損失としてお店に対して何らかの負担を求めるべきではないか？

A ご来村されるすべての観光車両が、村の施設の利用者とは限定出来ない部分があるので、対応に難しい部分はあるが、今後、適正に対処を考えて行かなければならない。

(答弁者：吉實観光振興課長)



白川村の創業補助金等の利活用の実態と事業効果、評価について

Q 創業者の夢を叶える支援策として創業補助金制度があるが、現在までの利活用の実態と雇用の創出や納税の拡充などの事業効果や、今後、多くの方々の希望の光となる施策であるので問題点があればご教授いただきたい。

A 申請件数は、14件で補助金交付額は14,700千円。雇用の創出と納税の拡充については効果があったと思います。一定の成果を出しながらも10年になる現在、本制度について補助率や使いやすさについて見直しの検討を行っているところです。

(答弁者：吉實観光振興課長)

Q 県下の他の市町村では、国の創業支援等事業計画の認定を受け、様々な創業支援に取り組んでいる。その方が多方面からの創業支援に繋がると考えられるが？

A 様々な実情に対応すべく、先ほども申し上げた通り、10年経過した補助金制度の見直しや検討を図って行きます。

(答弁者：吉實観光振興課長)

これが私の生きる道 ～どうしてあなたは、白川村に？～

みなさんこんにちは、今回で3人目の女性になります。ご縁があって白川村に嫁がれた方にインタビュー形式で伺ったお話を紹介します。人生色々いろんな考えや思いを持っている、今回はどんな話がきけたのか？**これが私の生きる道**この記事を読んで何かしら感じ取っていただけると幸いです。今回のインタビューは50代の方35歳から白川村に住むことになった知的な印象の女性です。

Q 村に住むことになって辛いと思った時、とった行動やエピソードは？

A 雪道の運転 これは、何年たってもなれません。大雪の時は、初心者マークを付けたいくらいです。

Q 村や地域にあるといいな～と思うもの何かありますか？

A コインランドリー
毛布など大きいものを洗いたい時に村にあったらな～と、いつも思います。

Q あなたの支えとなったものは、何ですか？

A 家族はもちろんですが、ママ友。子供が同世代のママさんは、村外から嫁いだ方が多かったので心強かったです。

健康で笑って過ごせることが、幸せです。本当にそうですよね。

ところで白川村のじいちゃんばあちゃんは、まめが宝やって言うけど、まめ＝健康の意味わかる世代はどこまでだろう？心と身体の健康を保つことは何より大切なことです。今年は地域のイベントや祭りも開催され賑わいも戻って来ました。沢山の笑顔が見られたのではないのでしょうか。この幸せが続きますようお願いばかりです。 坂本 正代

Q あなたは今、しあわせですか？

A 平凡な毎日ですが、家族が健康で笑っていられるので、幸せです。

議会傍聴案内

議会定例会（3月・6月・9月・12月）や、臨時議会は傍聴することができます。定例議会の開会時間は、6月と9月が午前9時、12月と3月が午前10時からです。傍聴される方は、開会時間15分前までに総務課までお申し出ください。

次回、12月議会定例会の議事日程運営は、12月上旬に白川村議会ホームページで確認することができます。また、一般質問通告に基づいてホームページに題目を掲載しています。ご確認の上、ぜひ村づくりの議論を傍聴くださいますようお願いいたします。

白川村議会ホームページは
こちらからご覧いただけます。



編集
後記

いつも議会だよりをご愛読頂き、ありがとうございます。残暑厳しい季節を乗り越え、今年はどぶろく祭りも通常開催となり一人々の心に残る祭りになったのではないのでしょうか。守るべき白川村の伝統と文化、子供や孫に残していきたい宝物の一つです。 坂本 正代

